

第7回新得町地域公共交通活性化協議会

〔開催日時〕 4月23日（火） 午前10時00分～午前10時40分

〔場 所〕 新得町役場3階 大会議室

3 出席者

所属団体名等	役職	氏名
新得町	副町長	田中 透嗣
新得町商工会	会長	湯浅 悟史
(株)新交通	運行管理者	深川 信雄
新得ハイヤー（有）	社長	石畑 政俊
北海道拓殖バス(株)	営業課長	小森 明仁
JR北海道新得駅	駅長	菅原 俊明
サホロクリニック	事務長	若林 尚
屈足商工振興協議会	会長	竹浦 隆
新得町女性団体連絡協議会	会長	中井 由利子
すこやかクラブ	会長	八幡 文雄
新得市街地区連合町内会	会長	岩谷 吉彦
新得警察署	交通課長	山内 寛人
十勝総合振興局地域政策部地域政策課	主査	津田 浩司
新得町観光協会	会長	若原 敏勝
十勝地区交通運輸産業労働組合協議会	副議長	高橋 敏朗
北海道十勝総合振興局帯広建設管理部鹿追出張	所長	長沢 誠
北海道運輸局帯広運輸支局	首席運輸企画専門官	桑山 秀也
新得町地域戦略室	室長	佐藤 博行
	係長	加賀谷 敬
	主事	石上 陽基

〔議事録〕

1. 開会

【佐藤室長】 「ただ今から第7回新得町地域公共交通活性化協議会を開会いたします。
田中会長よりご挨拶お願いいたします。」

2. 会長挨拶

【田中副町長】 <本日の会議の流れについて説明>

3. 新委員の紹介

【佐藤室長】 <協議会新委員の紹介>

4. 報告事項

〔報告第1・2号〕

【石上主任】 <報告第1・2号説明>

【田中副町長】 「報告第1・2号について、質問や意見ございますか。」<質疑なし>

5. 議案

〔議案第1号〕

【石上主任】 <議案第1号説明>

【田中副町長】 「議案第1号について、質問や意見ございますか。」<質疑なし>
「では、この議案については承認されたものとしてよろしいですか。」
・・・<全員了承>

【石上主任】 <議案第2号説明>

【田中副町長】 「議案第2について、質問や意見ございますか。」<質疑なし>
「では、この議案については承認されたものとしてよろしいですか。」
・・・<全員了承>

6. その他

【田中副町長】 「皆様からお知らせ、または全体を通してご質問などございますか。」

【深川委員代理】 「参加資格については、ここに書いてある事以外に追加となるか。」

【石上主任】 「資料に書いてあるとおりの資格で考えております。」

【深川委員代理】 「参加できる事業者とはどのような事業者か。」

【田中副町長】 「一般乗合旅客運送事業として許可を得ている事業者となります。」

【深川委員代理】 「難しい条件がたくさんあるような気がする。評価について、色んなポイントがあるが、すっきり競争入札とはならないのか。企画力というポイントがあるが、お宅らのほうでこういう風にしてほしいと提示し

てもらったほうがいいんじゃないか。」

【田中副町長】 「事業者の企画を受けて、こちらで判断するということとなります。」

【深川委員代理】 「運転手は何人用意すれば良いのか。」

【石上主任】 「運行事業者が主体となりますので、運行事業者で運転手の体制などもきちんと考えて企画していただくかたちとなります。」

【桑山委員】 「おそらくやろうとしているのは、4条運送ということで、路線バスのなやり方となっています。委託料という形ではないということになります。普通は、路線バス形式であれば、距離に応じて料金が変わってくるのですが、このような協議会で話し合われた運賃でありますと、例えば、一律100円小中学生半額というものも認められるようになっております。運輸局のフィーダ路線の要件に当てはまれば、赤字分の半分を補助することとなります。」（帯広運輸支局首席専門官）

【深川委員代理】 「計画はもらいます。金額はこれ以下でいいですか。企画だけ記入して出しなさいということですか。」

【桑山委員】 「委託をするということであれば、市町村が運行主体なって、自家用有償運送という形式もございますが、今回はそれとは別となります。」

【深川委員代理】 「青ナンバーで行うのか。」

【桑山委員】 「この場合は、青ナンバーでの運行となります。」

【深川委員代理】 「78条と4条どちらでやるのですか。紛らわしくて分からない。」

【田中副町長】 「先ほどご説明しましたが、4条で運行しますということですよ。」

【深川委員代理】 「予備バスは自分らで用意しないとイケないのですか。予備バスを1台をコミュニティバス運行に際しては、いつも空けてないとイケないということですか。」

【田中副町長】 「一般乗合旅客運送事業者であれば、可能ということで書いてございます。」

【深川委員代理】 「1台のバスに、1台の予備バスを車検とって、保険掛けて維持するというのはないのではないのか。」

【田中副町長】 「(会社がどこになるかも分からないので、) どのような状態になるか分からないが、通常は一般乗合旅客事業者であれば、何台かバスを有しているもので、1台のためにもう1台代替えのために空けておくというわけではなく、1台が故障してしまったら、どこかの1台をあてがうという形となると思います。」

【田中副町長】 「それでは、ほかよろしいでしょうか。」

【深川委員代理】 <了承>

【田中副町長】 「それでは事務局からお知らせがございます。」

【石上主任】 <次回協議会のご案内>

【佐藤室長】 「運行するバスですが、1台を町で購入します。実証運行でも利用し

ましたが、ノンステップのバスを購入したいと考えています。ノンステップであることで、お年寄りが非常に乗りやすいという声も多くいただいています。30名程度が乗れるバスを考えています。運行方法におきましては、町が運行主体という方法もありますが、町では、運行管理、運転手指導のノウハウもございませんので、運行管理体制等を責任をもって運行することのできる4条の交通事業者を考えています。現在、運行している既存の路線バスと同じような形式でコミュニティバスも運行するというを考えていますので、ご理解をよろしくお願いいたします。」

【田中副町長】 「ほか何かございますか。」〈なし〉

【田中副町長】 「それでは、第8回協議会については改めてご案内いたします。これで第7回協議会を終わります。忙しい中、ご足労いただき、ありがとうございました。」

以上